



クロモジ

## カニ山の会(仮称) 始動

昨年度末から雑木林塾の第1期から昨年第4期までの卒業生有志が集まりカニ山で自主活動が行われていたが今年度からは(仮称)「カニ山の会」として独立。崖線樹林としてのカニ山全体を考えながらヤブ化していた東樹林の保全活動を行っていくことになった。

### 4/9(土) 晴れ 参加者8名(職員含む)

例年よりやや遅れ気味だった春の到来だが、この日は暖かく、新緑の芽ぶきが美しい日となった。前回環境モニターと自主活動グループの合同調査ということで、植物調べをした折、大きなゴミが目だったため今回はゴミ袋を用意した。



アラカシの新葉

#### ・ゴミ拾い

燃えるゴミ・燃えないゴミをボランティア袋に入れ保全課に処分を依頼。大きなものは公園課に依頼。子供たちが設置したと思われる基地のような物が前回とは少し移動され2ヶ所にあったが、扱いは公園課に相談。(その後撤去されたが、子供たちと話し合えなかったのが残念)

コマルハナバチ



K.Y.

マルハナバチは、山地や北の地方に種類が多いミツバチの仲間で、数十匹ほどの働き蜂のいる社会生活を営む。  
コマルハナバチだけは東京都心部まで生息していて、夏前には次世代の女王蜂が巣立って、今年の巣は解散してしまう。女王蜂と働き蜂は、大抵ほぼ全身黒い毛で被われていて腹部の先だけ朱色。

#### ・植物調べ

今回は保全課で樹林の地図を用意していただき、貴重種のポイント落としを行った。種数はあまり多くないが、いくつか雑木林らしい植物もあって今後が楽しみ。シュロ・アオキが目立つのと倒れそうな枯れ木が気になった。また、いくつかの園芸植物と帰化植物も気になる存在。

#### ・次回

以上の活動から、カニ山全体のゾーニングを頭に入れると笹をあまり刈ってしまうと小鳥の隠れ家を奪うことになるし、人の訪れが多くなり過ぎると踏み荒らしも心配、ということで、いっきに刈り取るようなことはしない。常に動植物の観察と記録を継続しながら次回はシュロ等の除去をする。また土壌硬度や植生を、カニ山のほかの部分と比較する。などの案が出された。

将来はカニ山全体・また調布市全体の緑地保全について考え、保全管理活動ができれば...との希望も。

樹林保全活動に興味のある方は是非保全課にお問合せ下さい。(日程等は4頁参照) (K)

ビロウドツリアブ



K.Y.

春先にいち早く現れるアブの仲間。全身、茶色の柔らかい毛で覆われる。陽だまりで日向ぼっこしたり、タチツボスミレやカタクリなどの花の前でホヴァリングしながら、長い口で蜜を吸う姿を見かける。幼虫はハナバチに寄生するという。



**あっ！タヌキ！**  
活動後、樹林入り口で話し合いをしていると前方にタヌキが！  
残念ながらカメラ間に合わず、住宅脇に消えました。

## 参加者募集



前回の様子(農家の柿の木見学)

日時：5月28日(土)  
午前10時～12時半  
(荒天中止)

集合：神代植物公園正門前  
定員：申込み順 20人  
持ち物：飲み物  
申込み：5月25日(水)  
までに環境保全課  
(81)7086へ

今回のそぞろ歩き(旧ガイドウォーク)は、深大寺北町周辺の古木を見て歩きます。  
皆さん是非ご参加ください。案内は調布市環境モニター(環境調査ボランティア)です。

ちょうふそぞろ歩きに参加しませんか

### 人間・樹林の会

4月17日、根本さんを迎えて、春の方形枠調査と西側樹林地などをみて歩きました。樹林地を4つのゾーンにわけ、仮に「マテバシイのひろば」「雑木林ひろば」「シャガのひろば」「ツバキの森」と名づけました。樹林地の植物は、去年多かったキランソウやムラサキケマンが減り、ウラシマソウ・キツネノカミソリなどは増えています。人が樹林地に入ることや下草刈りや伐採の影響が確実にでてきています。花は、シャガが真っ盛り、ヤブニンジン、ヤマブキ、ウラシマソウ、モミジイチゴ、オトメツバキが咲いていました。来月は民家との境界の下草刈りなどの作業を中心にいきます。(安部)



ウラシマソウ

シャガの群生に陽があたり



### 環境モニター

4 / 2 晴れ 参加者 9 名 (職員含む)

多摩川、京王線鉄橋下流に集合し、二ヶ領上河原堰堤防法面のフィールドまで移動しながら植物を観察・記録して歩いた。

その後昨年度からの引き継ぎとして、二ヶ領上河原堰堤防法面の植物の記録を行った。



端午の節句に使うショウブに花がついていた。

多摩川の様子

- ・観察できた植物は全部で約 40 種類。
- ・春の花が咲いてきた。
- ・昆虫の観察ができた。
- (モンキチョウ、ナナホシテントウ)
- ・鳥の得意な里さんのリードで鳥の観察ができた。
- (ムクドリ、モズ、ヒヨドリ、セグロセキレイ、カイツブリ、ツグミ、ドバト、スズメ、アオサギ、コサギ、カワセミ)



今回はワンド周辺の観察です。参加希望者は保全課にお問合わせ下さい。(日程は4頁参照)

### 環境市民懇談会 勉強会

4月18日(木)18:30~ちょうふ環境市民懇談会の連絡会勉強会が行われました。

勉強会のみでの出席者は17人、話し合いの出席者は11人でした。(今回は環境保全課からも3人の参加がありました)以下、概要の報告です。

#### 1. 勉強会

テーマ:調布の自然について考える(環境管理計画と環境保全審議会答申の内容など)

講師:小豆畑耕一さん(環境保全課長)

内容のポイント

- ・調布市環境管理計画は平成7年3月に策定された調布市の環境行政の最高上位計画。
- ・調布市環境管理計画には市民参画が盛り込まれるなど、当時は新しかったが、策定から10年経ち、見直しが必要になっている。見直しは今年度中に行う。

・「調布市環境管理計画」は見直し後は、環境基本法にのっとり、「環境基本計画」となる。

#### 2. 話し合い

次回の連絡会勉強会について

5月16日(月)調布市の環境分野の各計画とその関係性について 行政の方からお話を聞く

### 調布あちこち 1

染地一丁目、都営住宅に近い畑のわきに、ひととき大きなちよっと珍しい樹形をしているクヌギの木があります。枝を横に大きく広げる様子は、隣の畑の風景とよく合います。

また、染地一丁目は調布に少なくなった田んぼがわずかに残る地域でもあります。この時期は、懐かしいレンゲの花が咲く様子が見られます。実は、レンゲは春になって自然に生えてくるのではなく、農家の方が蒔いています。子どもころ、レンゲの花を田んぼにすきこんでしまつたを見て、寂しいと思つた記憶があります。レンゲは実は田んぼの栄養にするための、生きた肥料なのです。

田んぼには、生き物と一緒に生きていく昔ながらの知恵が活きています。暖かくなつたこの時期、調布の農風景の中を散歩してみたいかがでしょうか。



## ちょうふ DE 田んぼ日記 その22

4月末ころの苗代には、かわいい芽吹き。

私たちの運営する「田んぼの学校」とは、佐須周辺の環境と野川の水質保全を目的に、農家の方のご好意により田んぼの農作業を手伝わせていただきながら、一年間の稲作を通して、調布の自然や環境についての知識と理解を深めてもらう体験学習です。

今年も4月3日に開校式を行い、総勢30名あまりのご家族に参加いただきました。午後は田んぼでの説明会と簡単な動植物の観察をしました。

4月9日は堆肥の切り返しと雑草取りをした後、お花見をかねて野川で懇親会を開きました。桜は満開、夕方からはライトアップも催され、絶好の日和となりました。子供たちはノビルなどの野草を採ったり、水遊びを楽しんだり、大人たちは花見をしながら話が弾んでいたようです。

今年も天候に恵まれ、豊作を願いつつ、新しいメンバーや子供たちと一緒に一年間がんばりたいと感じた4月、月末にはもう稲が芽生えていること

でしょう。  
(田んぼの学校  
こんどう)



ひと



調布の自然に親しむ会 中原義之 49歳  
早いもので調布の自然環境活動に参加し始めて今年で7年目を迎えます。役所の環境部の職員と比較しても年数では古株に属すでしょう。

懇談会に関係するものでは環境マップを作成した環境モニターに始まり、野川・里山探険隊、雑木林塾、人間・樹林の会、水辺の生き物調査実行委員会。他にどんぐり林公園や凸凹山緑地の

保全、佐須の田んぼの学校などと支離滅裂。特に都民委員で参加している野川流域連絡会や自主活動グループのねこじゃらしと(仮称)植物調べ隊改め調布の自然に親しむ会では知識欲もさることながら、近隣の市の方や博物館や記念館の学芸員や様々な生業に従事されている方々との交流から学ぶものが多く、日々発見と驚嘆に明け暮れています。今年の3月には5年の区切りとして環境省の環境カウンセラーの認定を受けました。資格や表彰や論文等の著作物もない小生でも現場を大切に活動して認めていただけたのは、市内で一緒に自然環境活動に参加されている方の協力の賜物であり、また活動の内容に自信と誇りを持つことができる証だと解釈しています。

今後は自然環境活動をとおして感じた多くの疑問や課題を整理し、10年目を区切りとして専門の都市防災の耐震設計では必要を感じなかった技術士にさしたる業務経験なしで挑戦し、この分野に終止符を打ち、そして新たな旅立ちを考えている今日この頃です。

50歳の峠を前にして未知の自分に出会えたことに感謝しつつ、限られた時間を自然と共に大切に過ごしていきたいと考えています。街で見かけたら声を掛けて下さい。

## 環境市民懇談会 運営会議報告

05.4.4(月) 18:30~20:30 たづくり301  
参加者 市民5名+行政5名+多摩川センター

ちょうふ環境市民懇談会のしくみについて確認

○運営会議(懇談会)

市民・行政・事業者の意見交換の場として年12回

○連絡会勉強会

市民の情報交換、意見交換する場として年12回

調布の自然について、市民・行政・(事業者)で話し合いたい課題

テーマ1:環境管理計画の見直しについて

・環境管理計画の見直し項目等を勉強。(環境保全審議会の答申より)(4月18日勉強会実施)

・懇談会から見直し内容に関する要望書を作成するワークショップ第1回(5月運営会議)

・ワークショップ第2回(6月運営会議)

テーマ2:崖線樹林の保全について(詳細未定)

ちょうふの自然便りの編集は主にメールで。

その他 新たに調布の風景を記録するプロジェクトの提案があった。

## 環境保全課の窓口

「調布市地球温暖化対策実行計画」ができました

調布市では、これまでも省エネルギービジョンの策定、ESCO(従前の利便性を損なうことなく、省エネに関する包括的なサービスを提供し、その顧客の省エネメリットの一部を報酬として享受する事業)の導入検討、ISO14001の認証取得等の具体的な取り組みをしてきましたが、本年2月「京都議定書」が発効されたこと、すでに施行されている「地球温暖化対策の推進に関する法律」第8条(地方公共団体の事務及び事業に関する実行計画等)に基づき、調布市の事務事業に関し、一層の環境にやさしい事業活動を全庁的に推進するために「調布市地球温暖化対策実行計画書」を作成いたしました。

本実行計画書には、調布市としての実行計画目標を達成するための地球環境にやさしい取り組み等を記載しており、今後は市の事務事業に伴う温室効果ガスの総排出量を算定するため、市が管理するすべての施設の毎月の電気・燃料(都市ガス、LPG、灯油及び重油A・C)・上下水道使用量及び支払い料金等を集計及び活動量を算出し、実行計画目標の実現を目指します。

実行計画は、市役所4階行政資料室、市内各図書館で閲覧できます。

## 活動予定

### 環境モニター

5/14 (土) 10:00 ~ 12:00

多摩川市民広場南土手ベンチ付近集合

ワンド周辺及び下流の植物調査

午後はそぞろ歩きの下見

(図鑑・ルーペ・双眼鏡等持参)

5/28 (土) 10:00 ~ 12:30

ちょうふ・そぞろ歩き 詳細は1面参照

6/11 (土) 9:30 ~ 12:00 多摩川鉄橋下流オギ原

植物調査 (図鑑・ルーペ・双眼鏡等持参)

今年度は通年植物調査をしています。また年2回調布の見所を紹介していますので、企画のできる方歓迎です。保全課にお問合わせください。

### 人間・樹林の会

5/15 (日) 10:00 ~ 12:30 人間地域センター集合

南側民家付近の保全活動を行います。

(作業しやすい服装・軍手)

原則として毎月第3日曜に活動しています。関心のある方は是非保全課にお問合わせください。直接地域センターに来訪も可。

### かに山の会

5/21 (土) 10:00 ~ 12:00 東樹林入口集合

シュロ等の除去 土壌硬度調べ 植物調べ

その他世話人・連絡網・年間計画の確認など

5月は第3土曜になりますが、原則は第2土曜の午前中に活動。その他臨時活動がある場合も。はじまったばかりの会ですが興味のある方は是非保全課にお問合わせ下さい。

### 布田崖線緑地 (上石原 2-49) 保全活動

毎月 第4日曜 AM10:00 ~ 12:00

凸凹山児童公園北側の崖線緑地を開放し、ワークショップ、イベント、整地作業などを行っています。

主催：布田崖線緑地を考える市民の会

次回は 5月29日 (日)

連絡先：緑と公園課 (81-7082)

発信：(江刺)

## イベント案内

### 勉強会 連絡会

#### 環境分野の各計画とその関係性について

- 調布市自然環境保全計画と  
緑の基本計画等との接点・市民との関係 -

5月16日 (月) 18:30 ~ 20:30

たづくり 303 会議室

調布市の環境に関する各計画とそれらの関連について行政の方からお話をうかがいます。どなたでも参加できます。調布の環境、いっしょに考えてみませんか。

話題提供者：環境保全課・(緑と公園課)

### 2005 アースデイ in 調布

#### <私が変わる。私たちの地球環境>

5月7日 (土) 10:00 ~ 15:00 市役所前庭

同時開催 地球環境映像祭(アースビジョン)

13:30 ~ 16:15 たづくり 12 階大会議室

調布を中心に活動する市民グループやNGOが集います。今年で18回目。屋台のお料理やエスニックの手づくり品が盛りだくさん。

(書き損じハガキ・古切手・使用済みプリペイドカードをJVCテントまでお持ちください)

### 環境フェア開催

6月4日 (土) 市役所前広場

市民行政・企業が協働で調布の環境への取り組みをPRします。左記の活動グループも参加予定です。

### 編集後記

4月24日 このところの楽しみは田んぼの雑草観察。「調布・あちこち」で紹介されていた場所には今、田んぼならではの野草が咲き誇る。

山室さんの虫の絵には負けるが「のばらの村のものがたり」という大好きな絵本を思い出し、私もレンゲの花を描いてみた。一つに見える花は実は10コくらいの花の集まりなのだが、そのひとつひとつにエンドウ豆のような豆がなっている。この時期、雑木林と同じくらいお気に入りの場所。(K)



次回 環境市民懇談会 運営委員会 (ワークショップ)  
5月9日 (月) 18:30 ~ 20:30 たづくり 303

環境市民懇談会は調布の自然環境を保全していくために、市民・行政・事業者の交流を目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

E-mail : kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp  
発行：ちょうふ環境市民懇談会  
問合せ先：調布市環境保全課 tel 0424-81-7086